~介護中の方、ご高齢世帯の方 にこそ聞いてほしい~

貯えよう、防災の基礎知識!!

2025年9月6日 R7年度在宅医療·認知症市民公開講座

医療法人桜花会 あすか在宅クリニック 髙添 明日香

こんにちは、あすかです



甲斐市で 訪問診療を中心に診療しています

在宅医療専門医

訪問診療件数 月260件/190人

往診件数 月50件(夜間休日10件)

在宅看取り 年 60人

本日のコンテンツ

- ■災害対策の3つの助を覚える
- ■自宅のハザードマップを確認する
- ■自助:自分で備える方法
- ■互助:近所の方と備える方法
- ■要介護者がいるご家庭の方へ



私たち山梨県人のほとんどは、 大規模災害時を経験していません





TVをつけると、消防隊、レスキュー隊、自衛隊らのスーパーヒーローが 弱き国民を助けてくれる映像を目にしますし



被災地で頑張る 国民の奮闘像も

目にしますが

『自分ごと』として考え、被災に備えて準備できているでしょうか?

オレの避難所って・・・ どこだったっけ???

という方の方が 多いのではないでしょうか



この話をすると必ず

次のように話す方が 多数発生します

『ワシ』はもう長くないから、へーいい(甲州弁) 地震の時はここで死ぬ (から備えなくていい)

簡単におっしゃってはいけません!

置いて逃げられない→周りの方を巻き添えにします 私たちには、自分の命を自分で守ろうと努力する義務があります







こんな方もいます(人工呼吸器使用者)

救急車呼んで病院へ行けばいいでしょ?

救急車は火災>傷病者搬送>レスキュー で運用します

電源確保のための搬送には使えません

災害発生時、TVで報道された下記場面を 御覧になったはずです

たくさんの避難者



画像引用:防災 THE PRESS

コンビニ·スーパー の棚は空っぽ



画像引用:朝日新聞

初日・翌日の 炊き出しはわずか



画像引用:每日新聞

助けて欲しい人ばかりの世の中では、行政の手も支援の手も及びません

準備をしていても、家の損壊が著しく、着の身着のままで逃げない といけない場合もあります。

その時、やさしい手が差し伸べられるかは・・・・ より多くの皆が備えているかに因ります。







災害対策には3つの『助』があります

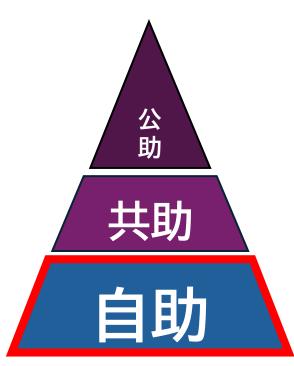
『**自助**』 自分自身・家族で備え、身を守る事 『**共助**』 地域・コミュニティで備え、助け合う事

『公助』 市町村や消防、県や警察、自衛隊といった 公的機関による救助や援助

その中でも 自助>共助>公助 が大切!

- ■大規模災害時は、地元の公助組織(行政、消防、警察、医療機関) も被災しています
- ■道路や物流に障害が発生すると、支援物資や 大事な命の移動にも莫大な時間がかかります

★人も物も足りません ★公助には限界があります



3つの『助』の 自助 を見ていく

自助

自分自身・家族で備え、身を守る事

『共助』 『公助』

地域・コミュニティで備え、助け合う事 市町村や消防、県や警察、自衛隊といった 公的機関による救助や援助

具体的な自助の方法は下記の4つです



- 0. 自宅避難か、避難所移動か選択する
- 1. 物の準備
- 2. 環境整備
- 3. 動線の確保

0. 避難場所の選択

自助

避難所は体育館

歩けるか

眠れるか



避難所移動組

- ●一次避難場所
- ●避難所 を確認する



自宅避難組



- ●組長/自治会長に申告
- ●自宅の物の備えを厚くする

(参考)ハザードマップ

火災

台風

地震

津波

火山 噴火

水害

土砂災害

台風→水害→土砂災害など予測できる時には 要介護者/医療依存度の高い患者の事前避難を計画します。

家屋浸水による垂直避難が想定される 家庭では、備蓄物品を2Fにも配備します。



1. 物の準備



A)自宅避難用の備蓄 B)避難場所に行く時用の持ち出し品

に分けて準備します

1. 物の準備

A) 自宅避難時用の物品

- ■飲料水·食品 7日分 ※水は1人2L
- ■災害用簡易トイレ
- ■電池式ランタン・懐中電灯
- ■日用品(おむつ・生理用品など)
- ■定期薬 7日分

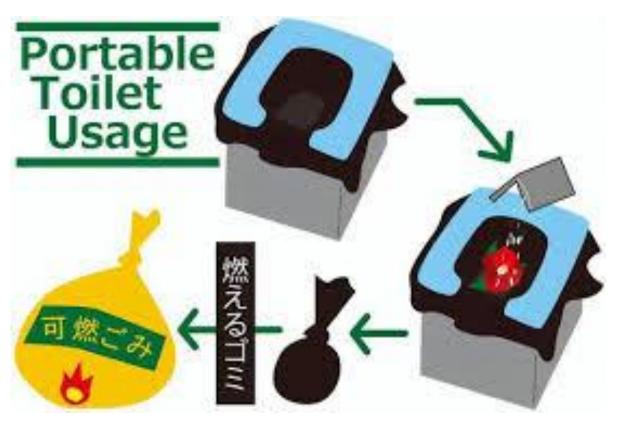


(参考)災害時用トイレ

ビニルをかけて 凝固剤を入れて



アマゾン 2500円~10500円



用を足したら ビニルをしばって廃棄する

(参考)災害用トイレ

お金をかけない方法も!







(参考)電気ランタン

懐中電灯でも良いが LEDのランタンがあると 停電時に作業/生活しやすい

アマゾン 2000円程度



(参考)あると便利! ポータブル蓄電池

1000W製品で 重量10.8kg

電気ケトル850W 1時間

電子レンジ約1000W 0.8時間

炊飯器330W 2.7時間

冷蔵庫500W 8時間

スマホ充電29W 45回満充電

人工呼吸器100W 8時間

在宅酸素100W 8時間



Jackeryサイト 77000円~140000円

1. 物の準備

自助

B)避難所に行く時用の持ち出し品

- ■飲料水·携帯食 1日分 ※水は1人500mL
- ■貴重品(細かい現金・身分証明書)
- ■電池式ランタン・懐中電灯(予備乾電池)
- ■日用品(おむつ・生理用品・マスク・ティッシュなど)
- ■定期薬7日分
- ■筆記用具
- ■眼鏡·洗面用具
- ■ホイッスル



(参考)ホイッスル

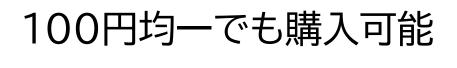












アルミ製、薄型、夜光型など色々ある

- ·建物倒壊時のSOS発出
- ・避難所でSOS発出 する際にあると便利!





(参考)防災ボトル

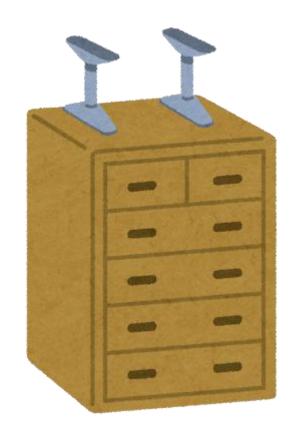
自動車のドリンクホルダー などに備えておくと便利 

2. 環境整備

自助

転倒しそうな大型家具を壁に固定する





3. 動線確保

自助

高齢であるほど、介護度が高いほど

完璧な準備は難しい

→寝室から退出口までを中心に整備



自助の準備は出来そうですか?

- 1. 物の準備は 今すぐに!
- 3. 動線確保は 片付けを兼ねてボチボチと

2. 大型家具の固定は、若い人の手を借りて出来るところから準備をしていきましょう

次は共助です

『自助』 自分自身・家族で備え、身を守る事

共助

地域・コミュニティで備え、助け合う事

『公助』 市町村や消防、県や警察、自衛隊といった 公的機関による救助や援助

皆様の地域(自治会)には、必ず自主防災組織があります!



この自主防災組織の方の音頭に合わせて

- ①一次避難場所に集合し
- ②皆で一緒に避難所に移動し
- ③避難所の治安を維持していくことが共助です

A) 自宅避難を選択した方



- ①自主防災組織に、平時のうちに自宅避難すること を申告しておきます
- ②真剣に備蓄します

※医療/介護依存度が高い方は、 医療者/ケアマネジャー/障害担当計画相談員と一緒に 災害時の支援計画を立てましょう

B)避難所移動を選択した方

共助

自主防災組織の号令の元一次避難場所で集合し、

皆の目と手を総動員して 避難所まで移動します



B)避難所では

共助

- 自主防災組織の号令の元
- 集落ごと(組ごと)に場所取りをします
- ※視覚障害者には壁際を
- ※孤立化に配慮

皆の目と手を総動員して

避難所の治安を維持します

(盗難、性犯罪、不均衡配給、災害関連死)



では、公助は何をしてくれるのか



災害対策本部

医師会 <u>本部</u>

 薬剤師会

 本部

看護協会 本部 市 災害対策本部

消防

警察

レスキュー

輸送

物資調達

医療救護所

街づくり再構築

病院

酸素 ステーション

福祉避難所

県外 広域避難所

仮設住宅

要介護者を抱えている皆様へ 1

①ご自宅位置のハザードマップをご確認下さい

- ②自宅避難を選択する場合
 - ・飲食物/日用品は7日分備蓄してください
 - ·定期薬(通常服用する薬)も7日分は手元に保管 願います

要介護者を抱えている皆様へ 2

③24時間体制で高流量の酸素や人工呼吸器管理が必要な方は、ケアマネジャー/医療支援者と共に 支援計画を立てつつ、自力での電源確保に努めま しょう



要介護者を抱えている皆様へ (被災時)

①予測して安全確保を図ることが重要です 大型台風発生時、水害/土砂災害対象地域にお住まいの 方は、警報発令前にショートステイ利用を検討しましょう。

②あなたが生き延びることが何より大事です 地震の際は、まず**自分の身**を守って下さい。

要介護者を抱えている皆様へ (被災時)

③建物倒壊時は、いかなる状況であっても避難! が必要です 大声で助けを呼び、近所の方の力を借りて一次避難所 を目指しましょう。



どーとでもなれ ではなく、 いざとなったら救急車! でもなく、

自らの命は人任せにしないで、 準備できるところから備えていきましょう

